



## Press Release

関係各位

2006年12月5日  
テュフオータマ株式会社  
〒206-0811 東京都稲城市押立 1744-95

### 「日本語版 EMC 専門誌」をオンラインで独占公開 国際 EMC 専門誌を発行する世界唯一の出版社 ITEM パブリケーションズと提携

テュフオータマ株式会社(本社:東京都稲城市、野上悦司社長)は、米 ITEM パブリケーションズ社(本社:USA プリマス市、グラハム・キルショウ社長)と提携し、Web上で読める無料デジタル版 EMC 専門誌「Interference Technology Japan」を来年2月より発行する。

「Interference Technology Japan」は隔月発行で、日本国内の品質管理者、電気・電子設計エンジニア全般および EMC 関係者を主な購読対象とし、ITEM 社の協力を得て世界最新の EMC 関連情報をすべて日本語で提供。テュフオータマ内の翻訳・編集チームと、長年にわたり EMC 適合などの記事を扱ってきた経験を持つ ITEM 社のスタッフが協力して、日本語版の記事を作り上げていく。

内容は英語版「Interference Technology」誌から日本のマーケットに合ったものを厳選し、技術、新製品情報、規格変更、その他関連ニュースを中心に構成。創刊号のお知らせは2007年2月末には購読希望者に配信される見込み。

日本初となる EMC 専門デジタル誌の創刊により、世界各地から規格アップデートやエレクトロニクスの新技術情報などが日本語で届けられることになる。日本のエンジニアにとって、これは間違いなく吉報であり、日本に進出中の外資企業にも格好の広告媒体となるに違いない。

ITEM 社のグラハム・キルショウ社長は、「『Interference Technology』誌は中国でも成功を収めており、テュフオータマとの提携は、世界の EMC マーケットでエンジニアとサプライヤーをつなげたいという我が社の戦略に大変有益なステップだ。日本が世界第2位の EMC マーケットであることは多くの人が認めているので今回の「Interference Technology Japan」誌発行には非常に期待している」と語る。なお本件は US 本国内で先日プレス発表され、各マスコミにも取り上げられた。

またテュフオータマ奥村哲也取締役も今回のプロジェクトをこう評している「グローバルに EMC 出版を手がけている ITEM 社と提携し、その経験やニュースソースを活用できるのは大変有意義なこと。日本の EMC エンジニアだけでなく、製品の EMC 適合に苦勞している電気・エレクトロニクス設計にかかわるすべてのエンジニアに、この有益な情報を提供できることは非常に嬉しいと思う」。



提携合意書にサインする両社経営陣。  
(左からテュフオータマ奥村取締役、野上社長、ITEM 社キルショウ社長)



新オンライン EMC 専門誌  
「Interference Technology」の表紙(英語版)



ITEM パブリケーションズ社 (ITEM Publications, Inc.)  
米国ペンシルバニア州プリマスミーティングを本拠地とし「Interference Technology」誌の印刷版およびオンライン版を、英語と中国語で発行。会社設立は 1970 年、現在では世界 60 カ国以上に読者を持ち EMC・電磁波ノイズ問題に関する卓越した情報発行源に成長している。日本での英文版「Interference Technology」読者はすでに 300 ~ 500 名。

URL: <http://www.interferencetechnology.com/>

テュフオータマ株式会社

1989 年に EMC オータマとして創立、2002 年に現在の社名テュフオータマとなる。日本の電磁波規制の創成期より長年にわたり EMC・電気安全試験業界でトップクラスの実績を持つ。今年 3 月には、都心至近の地に東京試験所を新設し業務拡張に邁進している。

URL: <http://www.tuv-ohama.co.jp/>

本件に関するお問合せは下記までお願いいたします。

〒215-0033 神奈川県川崎市麻生区栗木 2-8-20  
テュフオータマ株式会社 東京試験所  
管理部 TEL: 044-980-2092 FAX: 044-980-2012  
担当: 浜野 m-hamano@tuv-ohama.co.jp